

## 植物と人々の博物館メールマガジン

第 77 号 2021 年 7 月 10 日発行

ユリが花盛りです。香りは好きですが、あまりに強いですね。タチアオイに続いてフヨウもきれいに咲いています。6月末に小菅に行き、雑穀見本園に小金井で育苗した6種の雑穀を定植しました。

環境楽習会「環境学習原論」第一回(環境学習市民連合大学)は小金井環境市民会議と一緒に 20 名の参加で始まりました。ユーチューブでも見ていただけるようになりました。

記録動画(47' 48") <https://youtu.be/pqF-ZGVLV1s>

素のままの美しい花々、物事、作品、言葉、その中に真情を見いだしては称賛し、日々の暮らしの中で共感し、結び、希望を求めて励まし合いたいです。ぜひ一緒に、植物をめぐる生物文化多様性の保全のための調査研究や普及活動にご参加ください。

くれぐれも、お大事にお過ごしください。東京はオリンピックでウィルスが猛猖獗するでしょう。小金井市と国立市の市議会はオリンピック中止または延期を求める意見書を議決しています。都議会議員選挙ではオリンピック中止・延期を求める候補が 35 人(約 28%)当選しました。

余談ですが、この所日本のミステリーを見ていると、見知った場所がよく出てきます。「緊急取調室」(7月8日)に出てきたのは、当植物と人々の博物館のすぐ下の建物です。「駐在刑事」の青梅署内の水根駐在所は、実は丹波山村道の駅です。「相棒」などによく出る京都のお屋敷は、毎日散歩で通る近所の大森邸です。有名タレントさんたちがいつも近所に来ているようです。

### 1. 植物と人々の博物館

1)開館・作業予定日: 6月30日に、雑穀見本園づくりと植物標本整理をしました。

2)雑穀の種子継ぎ: 小金井で播いて育苗して、小菅の雑穀見本園に定植しました。藤野の宮本茶園ほかでも種子継ぎしています。

3)民族植物学ノオト: 第15号電子版は原稿募集中です。締め切りは2021年12月末、2022年3月発行予定です。編集子は「大学論」を準備しています。これまでのすべての記事pdfは植物と人々の博物館ホームページ(下記:ミュージアムグッズの項)で読めます。

<http://www.ppmusee.org/goods.html>

4)電子書籍: 植物と人々の博物館ホームページ(ミュージアムグッズ)に電子書籍(既刊)の項で読めます。『第四紀植物』第6章キビの栽培化過程と伝播で、キビの植物的起原と地理的起源をおおよそ明示できましたので、公開しました。

<http://www.milletimplic.net/weedlife/quatplants/chap6.pdf>

次は第7章インド亜大陸起源の雑穀についてまとめます。年内に全章を書き終える予定です。

一部公開中:『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』、『日本雑穀のむら』、“Essentials of Ethnobotany”の一部公開はまだ先になります。発行予定:『山村農人降矢静夫対談集』(降矢静夫・木俣美樹男)。これらは書き終えたら、電子出版にします。木俣美樹男 2021、クリンネス連載随筆継続 9月号。11月号。

#### 5) 寄贈など

「お米の勉強会会報」「クリンネス」「現代農業」「うかたま」「地域」ほか。

#### 7) 植物と人々の博物館基金 PPM Foundation の提案

大口寄附ではなく、クラウド・ファンディングや助成・補助よりも、できるだけローテクで1円玉からする募金を以前から考えていました。植物と人々の博物館の維持のために始めたいです。

## 2.環境学習市民連合大学 Civic United University for Environmental Studies

環境学習理論・実践「環境学習原論」を普及啓発する目的で、ウェブサイトを作りました。主旨は、市民社会の自由、平等、友愛を基本原則として、自らが学びあう市民連合大学をリンク・ページとして、インター・ネット上で運営することです。原初の大学は学び合いたい人々の学習者組合でした。入学資格、試験、授業料、卒業資格はありません。ただ、学び合いたい人々が存在するだけです。学ぶ意味や大学について改めて考え直したいです。このサイバ一大学は任意無償提供の学習素材、任意寄付で維持します。この提案にご賛同の方々の参加(リンクなど)を広く求めます。よろしくご連絡をお願いします。

<http://www.milletimplic.net/university/civicuues.html>

### 第2回環境楽習会「環境学習原論」 一般公開無料 一次案内

<http://www.milletimplic.net/university/pel2an.pdf>

日時:9月5日(日)10:30~12:00

場所:小金井市環境楽習館および ZOOM

話題:心の機能 五感、第六感(直感・直観)、第七感(教養・良心)。座談会。

### 第1回自給農耕ゼミ(小金井) 一次案内

<http://www.milletimplic.net/university/farmingkoganei/farmko1an.pdf>

日時:9月18日(土)14:00~16:00

場所:カエルハウス(小金井)および ZOOM

話題:農耕と農業の始まり、農耕文化基本複合。座談会。

\* カエルハウスの主宰は片山薫さん(小金井市議員)で、家庭菜園や市民農園などの学習会と一緒に始めます。これまでの自給農耕ゼミの参加者の方も ZOOM 参加していただくとうれしいです。

### 3.雑穀街道普及会:

自給農耕ゼミなどを ZOOM で行い、栽培、加工、調理、販売など技術的な事も経験交流し、学びを拡げるために、再び、ゼミは一般公開したいです。

雑穀街道普及会の会員や賛同者になっていただければうれしいです。趣意書や会則など、「街道美味」は下記のホームページをご覧ください。会費は任意、会の規模が大きくなり、事務経費が必要になるまでは求めません。少しずつ、会員になっていただくようお願いしています。

遠くアフリカなどから極東にまで伝播してきて、縄文後晩期以降、この島嶼に住む人々の命の糧であった雑穀、日本における伝統的な雑穀栽培は今にもいよいよ絶滅しそうな状況にあります。生きた文化財は種継をしなければ、死んでしまい、もう生き返らせません。生物文化の伝統も継承されません。全国各地の伝統的雑穀栽培継承者が 90 歳を超えようとしています。雑穀農耕文化複合は日本の山村が世界に誇る生きた文化財として継承すべきです。雑穀街道を FAO 世界農業遺産に登録申請する提案普及を続けます。広い心をもって、個人も地域社会も全国へ、さらに世界の起源の地にまで街道を繋げていってほしいです。2023 年は国際雑穀年になります。どうぞご助力いただけますようお願いいたします。

\* 下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

なお、45 年間、調査研究してきた『日本雑穀のむら』第 3 章関東地方・第 4 章関東山地で、雑穀街道地域の調査研究の成果(1974~2017)をまとめてあります。現在は第 5 章中部・北陸地方を整理しています。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millet/sn/jnmpilvil.html>

### 4.自然文化誌研究会

主な活動予定: 詳細は下記ウェブサイトにあります。

8月 5~11 日 こすげ冒険学校、小菅村 開催します。

9月 25~26 日 INCH まつり、小菅村

~~~~~

**植物と人々の博物館**(山梨県小菅村): 館長: 木下善晴、顧問研究員; 安孫子昭二

研究員: 木俣美樹男(東京、運営委員)、西村俊(石川、担当理事)、藤盛礼恵(千葉、運営委員)、川上香(長野)、渡辺隆一(長野)ほか

公式 HP: 植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

環境学習市民連合大学 <http://www.millemplac.net/university/civicuues.html>

**雑穀街道普及会** <http://www.millemplac.net/milletworld/millstr.html>

事務幹事 メールマガジン発行: 木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

民族植物学関係 HP: 生き物の文明への黙示録 <http://www.millemplac.net/>

エコミュージアム日本村／ミュージアム研究会／トランジション小菅(山梨県小菅村): 代表 亀井雄次(山梨小菅村)

自然文化誌研究会: 代表 中込卓男(東京)、副代表 中込貴芳(東京)、小川泰彦(埼玉)

<http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

事務局長: 黒澤友彦(山梨県小菅村) [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

~~~~~